

より親密な繋がりと、絆を深めるために――。

マレーシアとの 共生社会ホストタウンへ。

新春
対談

駐日マレーシア大使
ダト・ケネディ・ジャワン × 林 伊佐雄
埼玉県三芳町長

オリンピック・パラリンピックを契機に、姉妹都市ベタリングジャヤ(PJ)市のあるマレーシアと絆をさらに深めるため、ホストタウン登録に向けて始動した三芳町。今回、駐日マレーシア大使館のケネディ大使と林町長の対談が実現しました。



▲ マレーシア大使館で握手を交わすケネディ大使と林町長。

町長…三芳町はこれまでの相互交流が実を結び、2017年12月にPJ市と姉妹都市を提携しました。今日まで約30年に渡り続いているマレーシアと三芳町の交流の歴史は、レガシーそのものです。
大使…PJ市との交流は本当に素晴らしいですね。大使として、大変光栄に思います。
町長…一昨年のみよし

まつりには、PJ市のパフォーマーが来日し、互いの伝統芸能やダンスを披露して交流を深めました。
大使…写真を見ましたが、文化交流する姿に感動しました。出席したPJ市の皆さんの浴衣も、よく似合っていましたね。
町長…文化だけでなく考え方や価値観など、マレーシアとの交流はたくさん学びがあり、三芳町の発展に欠かせないものになっています。
大使…今後もどんな交流ができるか模索して、さらに繋がりを強化したいですね。
町長…実はオリンピック・パラリンピックを契機に、三芳町はマレーシアの「共生社会ホストタウン」になることを考えています。↵

大使…大歓迎です。マレーシアはバトミントンをはじめ、障がい者スポーツが盛んです。大使館としても応援していきたいです。

です。マレーシアは今年、観光年「Visit Malaysia 2020」に指定されていて、観光振興に力を入れる重要な年なんです。三芳町のイベント

町長…ありがとうございます。町ぐるみでパラピアンを応援できる取り組みを始動していきます。
三芳町は今年、町制施行50周年を迎えます。11月3日の「町民の日記念式典」などの記念行事に、ケネディ大使やマレーシアの皆さんを招待したいと考えています。
大使…ぜひ参加したい

に参加して、マレーシアの魅力が三芳町の皆さんに知ってもらいたいですね。そして、日本人が今よりさらにマレーシアを訪れてくれることを願っています。
町長…これからもマレーシアの人たちの温かさや優しさに触れ、強固な絆で交流を深め、発展を続けていきたいと思っています。
大使…2019年は両国において、有意義で素晴らしい一年でした。その中には、三芳町がPJ市で行った様々なプログラムも含まれています。三芳町とマレーシア全体の関係が向上するために、今後も三芳町と緊密に連携していくことが楽しみです。2020年が、平和で実り多い一年でありますように祈念しています。



①フォークロアフェスティバルに招待されたアンサンブル凧が弦楽合奏で会場を魅了。②毎年行われているマレーシア中学生海外派遣事業。③町の特産品、富の川越いものいも掘り体験。④一昨年のみよしまつりでは、ステージでマレーシア国家を演奏しておもてなし。

共生社会ホストタウンとは…



特にパラピアンとの交流をきっかけに、共生社会の実現に向けた取り組みを進めるホストタウン。障がいのある選手を迎え入れ、パラリンピック終了後も継続して、「ユニバーサルデザインの街づくり」や「心のバリアフリー」に向けた特色ある取り組みが期待されています。

三芳町とマレーシア 友好の歩み

- 1989年 東入間青年会議所とPJ青年会議所が姉妹提携。
- 2012年 PJ市議会とフレンドリーシティ協定を締結。APSSに町内中学生の派遣開始。
- 2017年 APSSと協定書を調印。友好関係、交流事業の継続を宣言。PJ市と三芳町初の姉妹都市を提携。
- 2018年 みよしまつりにマレーシアのパフォーマー等を招待し、文化交流。PJ市主催の国際フォークロアフェスティバルに2年連続で町から参加し、伝統芸能や弦楽合奏を披露。

※ APSS：マレーシアにあるアジア・パシフィック・スマート・スクールのこと。



駐日マレーシア大使
ダト・ケネディ・ジャワン

